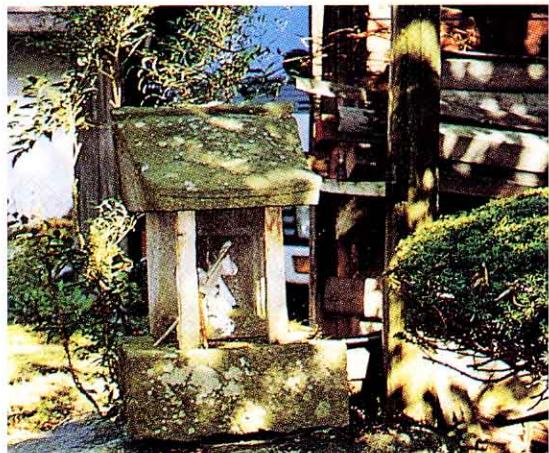


むかしのようすをつたえるもの

町を歩いていると、わたしたちの町にも、むかしのようすをつたえるものが残されていることに気がつきます。



▲弘安十年銘石標



▲馬の墓馬頭観音堂

これは、尾岐おまた小学校がある仁にん王のうの地区に残されている道しるべです。いまから、700年以上も前のものです。

950年ぐらい前、東北にせめ入った源義家みなもとのよしこが、その帰りに馬のなきがらを、旭の杉原あさひ すぎはらの東地区にほうむったといわれ、それから、このあたりを「馬の墓」とよぶようになったといわれています。



むかしからある地ぞう▶

この地ぞうは、旭の館たて地区にある「館泉寺かんせんじ」というお寺にあり、この地区の人たちによって守られています。